

令和 2 年 6 月 22 日現在

機関番号：82512

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2016～2019

課題番号：16K03924

研究課題名（和文）ASEAN地場企業のManagerial Innovationに関する実証研究

研究課題名（英文）An empirical study on managerial innovation by local firms in ASEAN countries

研究代表者

植木 靖（Yasushi, Ueki）

独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所・開発研究センター 経済統合研究グループ・主任研究員

研究者番号：40450522

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,500,000円

研究成果の概要（和文）：本研究では、日系企業が重視する基礎的な品質管理活動（5SやQCサークル等）とマネジメント面のイノベーションを通じた技術革新能力の形成・向上を明らかにすることを試みた。本研究では、アセアン地場企業による品質管理活動の導入は、取引先企業からの技術移転や協業を通じたリソース獲得を促進する、部門横断チームや情報通信システムを含むより複雑なマネジメントプラクティスの導入を円滑にする、そうしたマネジメントプラクティスは、内部リソースと外部リソースの有効活用を可能にして、技術的イノベーションを促進する、ことを仮説として設定した。本研究は、これらの仮説を在アセアン製造企業のデータを用いて検証した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

イノベーションに関する理論やモデルの多くは、技術イノベーションをベースに構築されている。一方で、多くの開発途上国企業が必要としているのは、必ずしもR&D活動による最先端技術の開発ではなく、先進国企業には当たり前の基礎的な技術や知識、ノウハウの吸収である。このように、開発途上国における学術研究・政策論と企業活動実態との間にはギャップがある。本研究は、アセアン地場企業を事例に従来の学術研究や政策議論から見落とされていたマネジメント面のイノベーションに着目することで、このギャップを埋め、地場企業のイノベーション能力向上への道筋のひとつと開発途上国の産業高度化政策の基盤となるエビデンスを提示した。

研究成果の概要（英文）：This study empirically investigates the formation and improvement of innovation capacity through basic quality control activities (such as 5S and QC circles), of which importance Japanese manufacturing firms emphasize, and management innovation. This study hypothesizes that local manufacturing firm in ASEAN who adopt basic quality control activities are more likely to (1) acquire external resource necessary for innovations through technology transfer from or collaboration with their business partners and (2) introduce more advanced managerial practices and systems such as cross-functional teams and information and communication technologies. This study also postulates that (3) such managerial practices will allow firms to make more effective use of internal and external resources to promote technological innovation. These hypotheses are examined by using data from manufacturing firms in ASEAN.

研究分野：産業開発・イノベーション

キーワード：Managerial Innovation 技術革新 企業内組織 技術移転 企業間連携 ICT ASEAN

1. 研究開始当初の背景

先発 ASEAN 諸国(マレーシア、タイ、インドネシア、フィリピンなど、以下先発諸国と略記)は、これまでインフラ整備や直接投資優遇策により工業化に成功し、中所得国へと発展した。しかし現在、中国との競争や後発 ASEAN 諸国(カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナムなど、以下後発諸国)の工業化による追い上げに直面し、先発諸国は労働集約的産業構造から脱却し、一層の高度化や経済の知識化が求められている。このような中、先発諸国はこれまでのモノ作り優遇策から、研究開発(R&D)といったイノベーションを促進する外国投資を優遇する政策に転換している。他方、後発諸国は、先発諸国の経験にならい、インフラ整備と直接投資の導入に積極的である。その狙いは、先発諸国と同様、外資主導による産業集積を基礎とする工業化にある。ただし、近年のイノベーションを重要視する産業政策に従い、後発諸国においても外資を誘致する際に、自国への技術移転が強調されている。事実、東南アジア4カ国(インドネシア、フィリピン、タイ、ベトナム)製造業研究によれば、国内・国際生産ネットワークを通じた企業間技術移転・協業とイノベーションとの相関関係(Machikita & Ueki 2011a; Machikita & Ueki 2011b, 2012)が確認されている。

一方で、地場企業の多くは、多国籍企業が要求する品質・費用・納品(QCD)水準を満たせず、さらに競合企業との製品差別化も困難なため、多国籍企業が構築する国際生産ネットワークに参画できていない。この生産ネットワークに加入できなければ、この面からの地場企業への技術移転の可能性は限定される。このような地場企業が ASEAN 地域統合から便益を享受できるために、地場企業に求められるイノベーション能力とそれを獲得するメカニズムを明らかにして、現実に地場企業の事業能力向上を支援する政策を検討する必要がある。

企業のイノベーション能力に関して、Cohen & Levinthal (1990)が提唱した「知識吸収力」(Absorptive Capacity)は有力な概念である。彼らは知識吸収力を「イノベーションに必要とされる情報の価値を評価し、社内に取り入れ、商業化する能力」と定義した。Zahra & George (2002)は、Cohen & Levinthal の知識吸収力の概念を、企業外部の知識の獲得・吸収に関わる「潜在的知識吸収能力」(Potential Absorptive Capacity)と、転換・探求に関わる「実現された知識吸収能力」(Realized Absorptive Capacity)とに分類し、企業が外部知識を獲得し、イノベーションを達成するまでの概念モデルを提唱した。こうした各種の「知識吸収力」の形成・向上には、研究開発(R&D)活動が重要と考えられる。しかし、R&Dは投資負担が重いため、先進国においても、中小企業が専門部署を設立して R&D 活動を実施しているとは限らない(Muscio, 2007)。ASEAN においては、R&Dに必要な資金と人的資源を投入できない地場企業も多い。企業が持つイノベーション能力や資源の計測で R&D 関連指標だけに依拠した分析アプローチは、ASEAN 企業の研究には不十分である。

イノベーションに関する学術研究は、もっぱら科学技術をベースにしたイノベーションに着目するものが多い。イノベーション政策も同様であり、科学技術開発に資する R&D やその研究成果のビジネス化を目標にしている。ASEAN のイノベーション研究や政策論も同様に、科学技術面での進歩がイノベーションを実現し、さらには経済発展にも影響を与えると、政策の必要性が強調されている。しかし、研究代表者・分担者による企業ヒアリングや実証研究(Machikita, Tsuji, & Ueki, 2016)の積み重ねから、地場企業の中では、5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)や QC(品質管理)サークルといった日本的な品質管理活動を実施している企業が、顧客を獲得し、イノベーションや事業拡大を達成していることが明らかになっている。ASEAN 地場企業が必要としているのは、必ずしも最先端の技術でなく、先進国企業には当たり前になっている技術や知識、ノウハウである。したがって、これまでの ASEAN におけるイノベーションに関する学術研究・政策論と、現実の企業活動実態との間にあるギャップを埋める研究が必要とされている。

2. 研究の目的

本研究の目的は、地場企業が Managerial Innovation(マネジメント革新)を通じて技術革新能力を形成・向上させるメカニズムを実証的に明らかにすることである。Damanpour (Damanpour & Aravind, 2012)らによる Managerial Innovation の研究をベースに、企業内部での各種の知識吸収能力を高めるためのマネジメントプラクティスに焦点を当て、企業のマネジメント手法が企業内の技術力構築や企業パフォーマンスに影響しているのかを実証的に検証する。

ASEAN 地場企業が技術力構築のために活用できる内部リソースは極めて限定されている。地場企業が技術力を獲得・向上するためには、内部リソースの効率的な活用と販売先や仕入元が持つ外部リソースとの有機的結合が必要となる。Damanpour & Aravind (2012)が「new approaches in knowledge for performing the work of management and new processes that produce changes in the organization's strategy, structure, administrative procedures, and systems」(pp. 429-42)と定義する Managerial Innovation は、そのための仕組み作りのための試みとも解釈できる。本研究は、外部からの技術、市場、消費者ニーズといった新しい情報を、企業内部のリソースと結合させ、イノベーションや事業能力を向上させるための仕組み、すなわちマネジメント革新を通じて、ASEAN 地場企業が技術的革新(Technological Innovation)能力を形成・向上させるかを実証的に明らかにすることにある。

本研究の分析対象と成り得るマネジメント手法には、5S といった品質管理手法から、部門横

断的な新製品開発チームといった企業内組織、情報通信技術といった設備投資を伴うシステム構築までが含まれる。本研究により、そうした様々なマネジメント手法と外部リソースの活用状況やイノベーション・事業パフォーマンスとの関係を明らかにする。

Damanpour & Aravind (2012:424)が述べているように、従来のイノベーション研究が構築してきた理論やモデルの多くは、製造業における技術イノベーションをベースに構築されており、それ以外のタイプのイノベーション（すなわち Managerial Innovation）が十分に研究されていない。本研究は、ASEAN 地場企業における Managerial Innovation に着目することで、従来の政策議論から見落とされていた Managerial Innovation と技術移転、R&D の関係に関する理論やエビデンスを考察し、ASEAN におけるイノベーション政策立案に貢献することを目指す。

3. 研究の方法

Managerial Innovation に関する先行研究や、研究代表者・分担者らによる ASEAN 地場企業に関する研究、在 ASEAN 日系製造企業における人材養成プログラムを考慮して、仮説が設定された。仮説は大別すると以下の2つである。

- 1) 5S や QC サークル活動といった品質管理の基礎となる改善活動は、常に問題意識を持ってスキル向上と全社的な改善に取り組む従業員の育成と組織形成を促す。自律的に改善に取り組む従業員や組織文化は、企業がイノベーションを継続的に達成するための基盤となる。
- 2) 5S や QC サークル活動といった品質管理の基礎となる改善活動の導入は、取引先企業からの技術移転や取引先企業との協業を通じた外部リソースの獲得および 企業内リソースと外部リソースの効果的な活用が必要とされる、より複雑なマネジメントプラクティスの導入のための先行条件 (Antecedent) である。
- 3) 取引先から獲得される外部リソースや新しいマネジメント手法の導入は、技術的・非技術的なイノベーションを促進する。

これらの仮説を検証するために、研究代表者・分担者が過去に ASEAN 5 カ国（インドネシア、フィリピン、タイ、ベトナム、ラオス）の製造企業から得たアンケート調査データと、在タイ企業を対象にした小規模アンケート調査から得られたデータが用いられた。データ分析には、最小二乗法、操作変数法、プロビット回帰、パス解析などの手法が活用された。

研究代表者・分担者は、以上の数量分析の他に、地場企業を含む在 ASEAN 企業に対するヒアリングを行い、仮説の設定や妥当性、アンケート調査票の作成、分析結果の解釈に資する情報を獲得した。

4. 研究成果

本研究による実証分析から得られた主な分析成果は以下である。

- 1) 顧客企業によるサプライヤーに対する技術指導の効果は主にプロセスイノベーションに対するものであり、プロダクトイノベーションの促進には製品開発を伴う協業的な企業間連携を構築する必要がある。改善活動は、サプライヤーの基礎的な吸収能力を高め、顧客企業と技術移転を伴う連携関係の構築に資する。改善活動は、協業的な企業間連携の構築に一定の効果がある可能性があるが、サプライヤーは連携能力構築のための R&D 投資も求められる (Ueki 2020)。
- 2) 社外にある市場情報の獲得や社内の製品・プロセス情報の活用のために効果的に情報通信技術 (ICT) を活用している企業は、社外から新技術情報を獲得し、プロダクトイノベーションを達成している (Ueki & Tsuji 2019b)。企業は、市場ニーズと自社のシーズを理解し、自社に足りない技術を外部から獲得することで、新製品を効果的に導入できる。新製品導入には、外部情報の導入が必要であり、ICT はそのための有効なツールに成り得る。
- 3) 5S、QC サークルといった改善活動を実施している企業は、部門横断チームを設立する傾向にある。さらに、部門横断チームが技術的なイノベーションの促進のために設立されたものであっても、部門横断チームを設立した企業はマネジメント革新を試みている傾向がある (Ueki & Tsuji 2019c)。この結果は、改善活動がイノベーション促進に必要な全社的取り組みを実施するのに必要な人的・組織的基盤の形成に資することを示唆する。
- 4) ICT を導入している企業には、QC サークルといった小集団による改善活動に取り組む企業が多く、さらに ICT に投資している顧客を持つ傾向がある。こうした企業は、経営上得られた情報を自社内および取引先企業と共有し、効果的に活用している (Ueki & Tsuji 2019a)。上記の部門横断チームの分析結果が示唆するように、改善活動は社内や関係企業との情報共有を促進するが、この分析結果は改善活動を通じて形成されてきた組織体制や関係企業との協業関係が ICT の活用を容易にすることを示唆する。
- 5) エンジニアの技術的スキルとマネジメントスキルの向上は、エンジニアの問題発見・解決能力を高め、プロセスイノベーションを促進する (Ueki & Martinez 2019)。ASEAN 地場企業によるイノベーションの促進に向けた課題として、エンジニアの技術的スキルの向上が強調される傾向にあるが、本研究から得られた結果は、経営管理面でのスキル向上とそのための政策支援の必要性を示唆する。

本調査の結果から、改善活動は、開発途上国の地場中小企業が着手しやすいイノベーションに向けた取り組みとして評価できることが明らかになった。ただし、企業が継続的にイノベーションとそのレベル向上を実現するためには、外部リソースの獲得や内部リソースの有効活用のための部署横断的なチームワークや情報共有の促進、ICTの活用が重要となる。企業は、改善活動を通じて獲得した人材や組織をベースに、マネジメント能力を改善し、より複雑なマネジメントを実践する必要がある。

<引用文献>

- Cohen, W.M., & Levinthal, D.A. (1990). Absorptive capacity: A new perspective on learning and innovation, *Administrative Science Quarterly*, 35(1):128-152.
- Damanpour, F., & Aravind, D. (2012). Managerial innovation: Conceptions, processes, and antecedents. *Management and Organization Review*, 8(2): 423-454.
- Muscio, A. (2007). The impact of absorptive capacity on SMEs' collaboration. *Economics of Innovation and New Technology*, 16(8): 653-668.
- Machikita, T., & Ueki, Y. (2011a). Linked versus non-linked firms in innovation: The effects of economies of network in agglomeration in East Asia. *International Journal of Institutions and Economies*, 3(1): 77-102.
- Machikita, T., & Ueki, Y. (2011b). The impacts of face-to-face and frequent interactions on innovation: Evidence from upstream-downstream relations. *International Journal of Institutions and Economies*, 3(3): 519-548.
- Machikita, T., & Ueki, Y. (2012). Interactive learning-driven innovation in upstream-downstream relations: Evidence from mutual exchanges of engineers in developing economies. *International Journal of Technological Learning, Innovation and Development*, 5(4): 346-366.
- Machikita, T., M. Tsuji, & Y. Ueki (2016). Does Kaizen create backward knowledge transfer to Southeast Asian firms? *Journal of Business Research*, 69(5), 1556-1561.
- Ueki, Y. (2020). Production networks and technology transfer: Empirical analysis based on survey data for companies in Southeast Asia. *Public Policy Review*, 16: 95-120.
- Ueki, Y., & Martinez, J. M. G. (2019). The impact of engineers' skills and problem-solving abilities on process innovation. *Economic Research-Ekonomska Istrazivanja*. DOI: 10.1080/1331677X.2019.1596826
- Ueki, Y., & Tsuji, M. (2019a). Effects of customer' ICT investment and quality control activities on ICT investment decision and data sharing and usage along production networks in Southeast Asia. *Proceedings of 2nd ITS MENA Conference*.
- Ueki, Y., & Tsuji, M. (2019b). The roles of ICTs in product innovation in Southeast Asia. *Review of Socionetwork Strategies*, 13:79-95.
- Ueki, Y., & Tsuji, M. (2019c). Cross-functional team and managerial innovations: Do Kaizen create innovative organizations in Southeast Asia? *Proceedings of Academy of International Business Southeast Asia Regional Conference*.
- Zahra, S.A., & George, G. (2002). Absorptive capacity: A review, reconceptualization, and extension. *Academy of Management Review*, 27(2):185-203.

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計14件（うち査読付論文 13件 / うち国際共著 1件 / うちオープンアクセス 5件）

1. 著者名 Kang Byeongwoo, Sato Yukihito, Ueki Yashushi	4. 巻 33
2. 論文標題 Mobility of Highly Skilled Retirees from Japan to Korea and Taiwan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Pacific Focus	6. 最初と最後の頁 58 ~ 82
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.1111/pafo.12108	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Tsuji Masatsugu, Ueki Yasushi, Shigeno Hidenori, Idota Hiroki, Bunno Teruyuki	4. 巻 27
2. 論文標題 R&D and non-R&D in the innovation process among firms in ASEAN countries	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 European Journal of Management and Business Economics	6. 最初と最後の頁 198 ~ 214
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.1108/EJMBE-02-2018-0030	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Chawalit J., Le Thi Ngoc Lan, N. Rittippant, P. Chongphaisal, T. Machikita, Y. Ueki, M. Tsuji	4. 巻 40
2. 論文標題 Examining the role of top management leadership style on transportation efficiency and profitability of logistics firms	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Songklanakarin Journal of Science and Technology	6. 最初と最後の頁 1306 ~ 1314
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14456/sjst-psu.2018.160	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Ogawa Masamaru, Ueki Yasuhi, Idota Hiroki, Bunno Teruyuki, Tsuji Masatsugu	4. 巻 3
2. 論文標題 Internal Innovation Capacity and External Linkages in Firms of ASEAN Economies Focusing on Endogeneity	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 STI Policy and Management Journal	6. 最初と最後の頁 97 ~ 117
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) http://dx.doi.org/10.14203/STIPM.2018.135	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tsuji Masatsugu, Idota Hiroki, Ueki Yasushi, Bunno Teruyuki	4. 巻 2
2. 論文標題 INNOVATION PROCESS OF NATURAL-RESOURCE-BASED FIRMS IN FOUR ASEAN ECONOMIES: AN SEM APPROACH	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 STI Policy and Management Journal	6. 最初と最後の頁 1~1
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) http://dx.doi.org/10.14203/STIPM.2017.74	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tsuji, M., H. Shigeno, Y. Ueki, H. Idota, T. Bunno	4. 巻 25
2. 論文標題 Characterizing R&D and HRD in the Innovation Process of Japanese SMEs: Analysis based on Field Study	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Asian Journal of Technology and Innovation	6. 最初と最後の頁 367-385
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.1080/19761597.2017.1385987	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Machikita, Masatsugu Tsuji, Yasushi Ueki	4. 巻 8
2. 論文標題 Industrial Upgrading with Shifting Resource toward External Information Sources	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 International Journal of Technology and Globalisation	6. 最初と最後の頁 141-168
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.1504/IJTG.2017.089001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yasushi Ueki	4. 巻 25
2. 論文標題 The roles of top management characteristics, human resource management and customer relationships in innovations: an exploratory analysis	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Asian Journal of Technology and Innovation	6. 最初と最後の頁 206-227
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.1080/19761597.2017.1385962	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 植木靖	4. 巻 18
2. 論文標題 日系自動車部品企業タイ製造拠点の高機能化・自立化とタイプラスワン型生産ネットワークの形成	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 早稲田大学自動車部品産業研究所紀要	6. 最初と最後の頁 42-55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fukunari Kimura, Tomohiro Machikita, Yasushi Ueki	4. 巻 49
2. 論文標題 Technology Transfer in ASEAN Countries: Some Evidence from Buyer-Provided Training Network Data	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Economic Change and Restructuring	6. 最初と最後の頁 195-219
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10644-015-9163-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tomohiro Machikita, Masatsugu Tsuji, Yasushi Ueki	4. 巻 69
2. 論文標題 Does Kaizen create backward knowledge transfer to Southeast Asian firms?	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Business Research	6. 最初と最後の頁 1556-1561
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jbusres.2015.10.016	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yasushi Ueki	4. 巻 69
2. 論文標題 Customer pressure, customer-manufacturer-supplier relationships, and quality control performance	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Business Research	6. 最初と最後の頁 2233-2238
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jbusres.2015.12.035	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masatsugu Tsuji, Hiroki Idota, Yasushi Ueki, Hidenori Shigeno, Teruyuki Bunno	4. 巻 2016
2. 論文標題 Connectivity in the technology transfer process among local ASEAN firms	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Contemporary Economics	6. 最初と最後の頁 193-204
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5709/ce.1897-9254.209	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yasushi Ueki, Chawalit Jeenanunta, Tomohiro Machikita, Masatsugu Tsuji	4. 巻 69
2. 論文標題 Does safety-oriented corporate social responsibility promote innovation in the Thai trucking industry?	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Business Research	6. 最初と最後の頁 5371-5376
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jbusres.2016.04.140	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

〔学会発表〕 計32件 (うち招待講演 0件 / うち国際学会 31件)

1. 発表者名 Iwasaki, F. and Y. Ueki
2. 発表標題 The spatial extensions of production networks: Some case studies in ASEAN region
3. 学会等名 International Geographical Union (IGU) Thematic Conference. Moscow (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ueki, Y. and M. Tsuji
2. 発表標題 Cross-functional team and managerial innovation activities: HRM for Kaizen as a foundation for creating innovative organizations in Southeast Asia
3. 学会等名 International Human Resource Management (IHRM) Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Iwasaki, F. and Y. Ueki
2. 発表標題 The firm level manufacturing-sales vertical integration: Some case examples of Japanese small and medium enterprises (SMEs) in apparel industry
3. 学会等名 Society for the Advancement of Socio-Economics (SASE) Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ueki, Y.
2. 発表標題 Impacts of engineers' skills and problem-solving abilities on innovation
3. 学会等名 Global Innovation and Knowledge Academy (GIKA) Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ueki, Y.
2. 発表標題 Identifying external information sources for product innovations in Southeast Asia
3. 学会等名 R&D Management Conference. Milan (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ueki, Y. and M. Tsuji
2. 発表標題 The roles of ICTs in product innovation in Southeast Asia
3. 学会等名 The 5th Multidisciplinary International Social Networks Conference (MISNC) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1 . 発表者名 Ueki, Y. and M. Tsuji
2 . 発表標題 Domestic and international buyer-supplier knowledge transfer and innovations in Southeast Asia
3 . 学会等名 5th Global Conference on Economic Geography (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Iwasaki, F. and Y. Ueki
2 . 発表標題 Factors promoting the geographical expansions of international production networks: Some case studies of Japanese firms ' Thailand plus one strategy
3 . 学会等名 5th Global Conference on Economic Geography (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Iwasaki, F. and Y. Ueki
2 . 発表標題 Understanding the survivability of SME manufacturing firms: Some case studies of apparel industry
3 . 学会等名 Asian Association of Learning, Innovation and Coevolution Studies (ASIALICS) (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Ueki, Y. and M. Tsuji
2 . 発表標題 Continuous improvement, knowledge transfer, and innovations in Asian production networks
3 . 学会等名 19th International Continuous Innovation Network (CINet) Conference (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Iwasaki, F. and Y. Ueki
2 . 発表標題 Maintaining the labor-intensive manufacturers in developed nations: Case studies from Japanese apparel industry
3 . 学会等名 East Asian Economic Association Conference 2018 (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Ueki, Y. and M. Tsuji
2 . 発表標題 Effects of customer ' ICT investment and quality control activities on ICT investment decision and data sharing and usage along production networks in Southeast Asia
3 . 学会等名 2nd International Telecommunications Society (ITS) MENA Regional Conference 2019 (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Tsuji, M., H. Idota, H. Shigeno, Y. Ueki, and T. Bunno
2 . 発表標題 Comparative Analysis of the Innovation Process with Formal or Informal R&D among Firms in ASEAN Countries
3 . 学会等名 Global Innovation and Knowledge Academy (GIKA) Conference (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Hidenori Shigano, Taisuke Matsuzaki, Masatsugu Tsuji
2 . 発表標題 ICT Use, Connectivity, and Innovation Capability in Japanese SMEs
3 . 学会等名 International Telecommunications Society (ITS) European Conference (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Tsuji, M., H. Idota, Y. Ueki, H. Shigeno, and T. Bunno
2 . 発表標題 Innovation Process with Informal R&D Unit among Firms in ASEAN Countries
3 . 学会等名 ASIALICS Conference (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Tsuji, M., H. Idota, H. Shigeno, Y. Ueki, and T. Bunno
2 . 発表標題 Factors Promoting Innovation with Formal or Informal R&D among ASEAN Firms
3 . 学会等名 ENTRENOVA (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Tsuji, M., H. Idota, Y. Ueki, H. Shigeno, and T. Bunno
2 . 発表標題 Comparative Analysis of Formal and Informal R&D for Innovation in Firms in ASEAN Countries
3 . 学会等名 GLOBLICS (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Yasushi Ueki
2 . 発表標題 Organizational characteristics of innovative firms with or without R&D department
3 . 学会等名 Global Innovation and Knowledge Academy (GIKA) Conference (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1. 発表者名 Yasushi Ueki
2. 発表標題 Roles of top management characteristics, human resource management, and customer relationships in innovative firms in Southeast Asia
3. 学会等名 GLOBLICS (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yasushi Ueki
2. 発表標題 Conditions and constraints of Thailand Plus One production network formation: a case study of the automotive industry in Thailand
3. 学会等名 Euro-Asia Management Studies Association (EAMSA) Conference (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Fusanori Iwasaki, Yasushi Ueki
2. 発表標題 The mechanisms of the evolution of production networks led by market side factors: case studies in Japanese apparel and accessories SMEs
3. 学会等名 Conference on Global Production (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Fusanori Iwasaki, Yasushi Ueki
2. 発表標題 From buyer-driven to consumer-driven?: the case studies of Japanese small and medium sized enterprises internationalization
3. 学会等名 Academy of International Business Southeast Asia Regional Conference (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Fusanori Iwasaki, Yasushi Ueki
2. 発表標題 The strategies and features of small and medium sized enterprises internationalization through case studies of Japanese SME apparel and accessory industries
3. 学会等名 European International Business Academy (EIBA) Annual Conference (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yasushi Ueki, Hiroki Idota, Hidenori Shigeno, Masatsugu Tsuji
2. 発表標題 A Study of the Connectivity to External Linkages for Innovation in ASEAN Local Firms
3. 学会等名 The 9th Academy of Innovation and Entrepreneurship (AIE) Conference (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Masatsugu Tsuji, Hiroki Idota, Yasushi Ueki, Teruyuki Bunno, Hidenori Shigeno, Tomohiro Machikita
2. 発表標題 Connectivity in the Technology Transfer Process Among Local ASEAN Firms
3. 学会等名 The 8th IEEE International Conference on Management of Innovation and Technology (ICMIT2016) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Tomohiro Machikita, Yasushi Ueki
2. 発表標題 How Teams Interact with Interfirm Technology Transfers for New Variety
3. 学会等名 The 15th Biennial Convention of the East Asian Economic Association (EAEA) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 滋野英憲・辻正次・井戸田博樹・植木 靖
2. 発表標題 ASEAN 諸国企業のイノベーション創発と外部資源との連携に関する研究
3. 学会等名 商品開発・管理学会第27回全国大会（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hiroki Idota, Yasushi Ueki, Teruyuki Bunno, Masatsugu Tsuji
2. 発表標題 How Japanese Firms Collaborate with Consumers for Product Innovation by Social Media Use
3. 学会等名 2016 ITS (International Telecommunications Society) Biennial Conference
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hiroki Idota, Yasushi Ueki, Teruyuki Bunno, Masatsugu Tsuji
2. 発表標題 " The Effectiveness of Social Media Use in Japanese Firms
3. 学会等名 Multidisciplinary International Social Networking Conference (MISNC) 2016 (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hiroki Idota, Yasushi Ueki, Hidenori Shigeno, Masatsugu Tsuji
2. 発表標題 Empirical Analysis on Human Resource Management and ICT Use for Product Innovation among in Firms in ASEAN Economies
3. 学会等名 27th European Regional Conference of the International Telecommunications Society (ITS) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yasushi Ueki, Hiroki Idota, Teruyuki Bunno, Hidenori Shigeno, Masatsugu Tsuji
2. 発表標題 How Formal or Informal R&D Activities Affect Innovation among Firms in ASEAN Countries?
3. 学会等名 ASIALICS 2016 (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hiroki Idota, Yasushi Ueki, Teruyuki Bunno, Hidenori Shigeno, Masatsugu Tsuji
2. 発表標題 A Study of the Connectivity with External Linkages for Innovation in ASEAN Local Firms
3. 学会等名 Asia Pacific Conference on Information Management (APCIM) 2016 (国際学会)
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計2件

1. 著者名 植木靖	4. 発行年 2018年
2. 出版社 白桃書房	5. 総ページ数 35
3. 書名 アジアにおける知識移転の基盤整備と実際	

1. 著者名 河野英子・植木靖	4. 発行年 2018年
2. 出版社 白桃書房	5. 総ページ数 24
3. 書名 製造・開発現場における知識移転と「海外準マザー工場」の役割	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

